

# 計算科学研究センターにおけるスーパーコンピュータの 海外組織所属ユーザ利用について

計算機システム運用委員会

計算科学研究センターで運用中のスーパーコンピュータは、外国為替及び外国貿易法に定められる輸出規制・技術供与規制の対象となり、無許可で海外組織所属ユーザが利用することはできない。これに対し、学術利用及び共同研究等の推進の観点から、本センターでは以下に示す方法で特定の条件の下で海外組織所属ユーザへの利用を一部可能とする。

## 1. 根拠となる法的条件

安全保障輸出管理令において、輸出規制・技術供与規制の対象となる物品に関し、国際的な安全管理上、主に核兵器等の兵器開発、製造、使用、加工に用いられる（またはその可能性の高い）物品は「該当物品」と位置づけられる。これに対し、スーパーコンピュータの利用とそれに関連して提供される技術文書（マニュアル等）が、これらの対象とならないことを証明できる場合、それらは「非該当物品」と認定される。非該当物品に関しては、いわゆる「グループ A 国」（輸出令によって定められる規制対象外とみなされる国）に対する供与においては関係機関への申請を経ずに輸出・技術供与を行うことが可能である。

これらを踏まえ、本センターでは各スーパーコンピュータに対する非該当認定を受けた上で、グループ A 国リストのユーザに対して当該システムの利用を認めるものとする。ただし、これはそのユーザが利用可能であることを認めるだけであって、実際にアカウント作成が可能であるかどうかは学際共同利用等の各システム利用区分での審査を別途受ける必要がある。

## 2. グループ A 国リスト

令和元年9月現在、グループ A 国は以下のようになっている。

アルゼンチン、フランス、ニュージーランド、オーストラリア、ドイツ、ノルウェー、オーストリア、ギリシャ、ポーランド、ベルギー、ハンガリー、ポルトガル、ブルガリア、アイルランド、スペイン、カナダ、イタリア、スウェーデン、チェコ、スイス、デンマーク、ルクセンブルク、イギリス、フィンランド、オランダ、アメリカ

## 3. 非該当認定を受けているスーパーコンピュータ

2019年9月現在、Cygnusは非該当認定を受領済みである。

#### 4. 非該当スーパーコンピュータに対するユーザ認定

非該当スーパーコンピュータにおけるグループ A 国ユーザに関しては、本センターの判断でユーザとして認定できるため、この認定作業は本センターの計算機システム運用委員会が行うものとする。認定は以下の2段階で行われる。

##### (4-1) ユーザの所属組織単位の認定

利用者による作業は不要である。

認定にあたり本センター委員会から所属組織を大学本部に対して申請する必要があるため、認定までに時間を要する。

(過去に当該組織に所属している他のユーザがいてその組織を申請していた場合、既に承認済み組織のため省略できる。)

##### (4-2) ユーザ本人の認定

ユーザ毎に本センターが認定を行う。

#### 5. 必要書式

4-(2)の認定のため、次ページに示す「海外組織所属ユーザによるスーパーコンピュータ利用申請」を提出する。なお、提出の際は在籍研究機関での職分証明書も添付する事。

この他、本センターから与えられるアカウントの使用が、非該当物品で定められている技術情報の利用法に違反しないことを宣誓する宣誓書への署名を求める。

#### 6. 提出先

〒305-8577

茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学計算科学研究センター スパコン担当技術職員

(以上)

計算科学研究センター  
Center for Computational Sciences, University of Tsukuba  
海外組織所属ユーザによるスーパーコンピュータ利用申請  
Supercomputer Utilization Application Form (by users in oversea  
organizations)

\*申請の際は、在籍研究機関での職分証明書も添付のこと

**\*The certificate of enrollment at your research institution must be attached at the time of application.**

ユーザ情報 (User's Personnel Information)

1. 氏名 (Name) :

[ ]

2. 国籍 (Nationality) :

[ ]

3. 所属組織名 (Organization) :

[ ]

4. 所属組織の国名 (Nation of Organization) :

[ ]

5. 所属組織における職位 (Title/Position in Organization) :

[ ]

6. 電子メールアドレス (E-mail) :

[ ]

7. 使用スーパーコンピュータ名 (Supercomputer System Name) :

[ ]

8. スーパーコンピュータの利用目的 (Purpose to use Supercomputer) :

[ ]

## 宣誓書 (Declaration)

私は、筑波大学計算科学研究センターにおけるスーパーコンピュータの利用に際し、安全保障輸出管理令に定められる非該当条項を遵守し、アカウント取得を認められた目的以外での利用を行わないことを誓います。

(On the use of supercomputers at Center for Computational Sciences, University of Tsukuba, I declare to observe the issues and conditions on Non-Applicability Items in Export Control Law, and will use these systems only for the purpose which is approved by the Computer System Management Committee of Center for Computational Sciences, University of Tsukuba.)

自署による署名を行って下さい。(Please sign to the following declaration)

年月日 (Date: YYYY/MM/DD) :

[ ]

署名 (Signature) :

[ ]

以下、計算機システム運用委員会連絡欄、空白のままとすること) -----

(official use space, keep blank the fields below this line)

承認者氏名 (Signature of authority) :

承認年月日 (Authorize Date) :